

【事務局】

一般社団法人 熊本県社会福祉士会

熊本市東区健軍本町1-22 東部ハイツ105

Tel 096-285-7761

Fax 096-285-7762

E-mail kumacsw@lime.plala.or.jp

URL http://kumacsw.com/

発行責任者 深谷 誠了

編集責任者 田上 緒

発行日 2020年8月



一般社団法人 熊本県社会福祉士会ニュース

CSWくまもと
Certified Social Worker第
68
号

特集：「令和2年7月豪雨」に伴う本会の動きについて

会長就任挨拶



深谷 誠了新会長

この度一般社団法人熊本県社会福祉士会の会長を務めさせていただくこととなりました。歴代の会長及び役員の皆様が作り上げてこられた熊本県社会福祉士会がより発展していくことができるよう努めて参ります。

初めにこの度7月4日に発生した令和2年7月豪雨により被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げます。また尊い命を奪われた皆様・ご遺族へお悔やみ申し

上げます。

昨今の日本の社会状況は大きく変化をし、またこの度の新型コロナウイルス感染症においては想像を絶する状況が続いております。そのような中にあっても私たちソーシャルワーク専門職である社会福祉士はクライアントの地域生活支援をニーズやデマンドに応じて進めていかなければなりません。

社会福祉士の活動領域は福祉・医療・教育・司法・労働など多岐にわたり、社会の変化に応じて実践が変化をして行かなければなりません。その実践はミクロ・メゾ・マクロ領域と広がりも求められます。その活動・実践領域を私たちの可能性として進めたいと思います。

本会は1992年に任意団体と

して設立し、会員の自己研鑽や実践活動、ネットワーク構築等の場として活動を行ってまいりました。現在の会員数は800名を超え、公益的な活動や委託事業も増え、本会の社会的責任も増大してきています。そのような本会も2023年には30周年を迎えます。未来に向けて今こそ土台の強化に取り組み、今一度会員の皆様の協力を頂きながら価値共創し、会員、地域住民の皆様にとって魅力ある社会福祉士会にしていきたいと思っております。最後に私たち社会福祉士は「社会福祉士の倫理綱領」に基づき目的と手段を履き違えることがないように努めて参りたいと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。

2019年度臨時総会及び2020年度定時社員総会報告

今回、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2020年6月27日（土）13時から第1部2019年度臨時総会、14時から第2部2020年度定時総会となりました。

感染拡大防止のため人数は制限され、マスク着用、座席の位置も社会的距離の確保が求められ、極力短時間で終わるように様々な対策が講じられた総会となりました。現時点での会員数830人、参加者は、43人で、委任状提出者が399人で合計4

42人となり、過半数を超え、総会成立の報告がありました。

例年行われている委員長、ブロック長からの事業報告、事業計画等については、割愛されるかたちとなりました。フロアからは、コロナ禍の中だからこそ、今回参加することが出来なかった会員に対しても、見やすい総会資料作り、事業ごとの収支予算書の必要性等の見える化を進めて欲しい等の活発な意見が挙がりました。

第4号議案の役員改選ですが、

会員理事定数15名、選任理事数15名、立候補理事数15名ということで選挙は行われませんでした。理事の中からの互選ということで、新会長は、深谷誠了さん、副会長は、永田直往さん、吉本裕二さん、事務局長は、塘林敬規さんが選任されました。また、これまで監事2名体制から3名体制となる説明がありました。結果としては、第1部の第1号議案、第2号議案、第2部の第1～4号議案いずれも承認されました。

『令和2年7月豪雨』に伴う本会の動きについて

熊本県南豪雨で被災された皆さまへ 2020年7月9日現在
(熊本県社会福祉士会Facebookページより)

このたび発生した熊本県南豪雨により被災された皆さまへ心よりお見舞い申し上げます。
また尊い命を奪われた皆様・ご遺族へお悔やみ申し上げます。

被災地域では今なお続く大雨、救助作業、復旧作業等々の中、大きなご不安の中でお過ごしのこととご推察申し上げます。

本会は災害対策本部を設置し、生活再建、被災地における相談援助等の支援体構築の準備を進めております。また、自治体・関係機関との連携を通して早期の復旧を願い支援を行うよう考えております。

被災された皆さまの1日でも早い復旧、生活再建を願っております。

熊本県社会福祉士会の動き 2020年8月5日現在

7/4	(24時間以内) 災害対策本部設置(本部長:深谷誠了、責任者:西田剛)
7/5	事務局より、各ブロック長へブロック会員の安否確認依頼を実施(ばあとなあ連絡網にて個別に会員安否等を確認)
7/8	災害対策本部設置理事会承認
7/9	会長メッセージ発信
7/10	第1回現地視察 被災地先遣隊として人吉地区会員のお見舞いおよび状況確認のため訪問(深谷会長、西田災害時支援担当理事、磯田災害時支援委員長)
7/15	災害対策本部会議及び災害時支援委員会会議をリモ開催
7/20	災害支援者登録をホームページへアップし、募集開始
7/21	ばあとなあ熊本、後見活動の支援のための調査開始
7/22	日本社会福祉士会、熊本県社会福祉士会連名で熊本県へ支援協力の申し入れ
7/24	第2回目の現地視察(日本社会福祉士会の伊東理事とコーディネーターの鹿嶋氏も同行)
7/25	日本社会福祉士会 九州沖縄ブロック災害対策会議(ZOOM)
7/28	経営協・DMAT会議参加
7/31	第3回現地視察(球磨村包括訪問)
8/3	日本社会福祉士会、熊本県社会福祉士会連名で球磨村へ支援 ※今後は、支援開始に向け準備調整を行っていく
8/4	令和2年7月豪雨 被災地支援福祉関係団体調整開智(仮称)
8/5	理事会にて経過報告

令和2年7月熊本県南部豪雨に関する支援者募集について
(申し込み受付中)

熊本県社会福祉士会では、標記災害に対する支援者登録を開始いたします。

今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、県外からの応援派遣が難しいことから、まずは県内で支援できる方の人数を把握し、並行して被災地の状況や行政担当課との調整を行い、いわゆる「災害ソーシャルワーク活動」を念頭に置いた支援内容の詳細を決定する予定です。詳細不明な中で判断が難しいかもしれませんが、諸事情をお汲み取りいただき、まずはご登録をよろしくお願いいたします。
尚、本広報誌に「災害支援活動者登録フォーム」を添えて送付致しますので合わせてご協力をよろしくお願いいたします。(7月30日現在登録者数42名)



第1回現地視察の様子

理事紹介

永田直往



副会長
社福祉総合支援事業所
”おあしず”

吉本裕二



副会長
熊本県社会福祉協議会

塘林敬規



事務局長
大江学園

高木啓次



公益事業
高木啓次司法書士
・社会福祉士事務所

山内恵美



相談委員会
社会福祉法人慈愛園
慈愛園子供ホーム

小柳久美子



成年後見委員会

窪田寛史



地域包括委員会
熊本市西3
地域包括支援センター

松本健一



虐待対応委員会
特別養護老人ホーム
かなんの杜

濱川文彦



研修委員会
大腸肛門病センター
高野病院

岡村ゆかり



受験対策委員会
熊本学園大学
社会福祉学部

稲垣昇



第三者評価委員会
認定こども園シオン

坂本眞奈美



広報委員会
スクールソーシャルワーカー

※今回は、皆様の要望等に応えるため、写真・イラストの柔軟な掲載にしております。

理事・監事・委員長紹介

松川あゆみ



会員サービス委員会
スクールソーシャルワーカー

西田剛



災害時支援委員会/
情報管理委員会 担当理事
介護老人保健施設ホーム
なごみの里

傘正治



監事
熊本乳児院

高江康明



監事
地域密着型介護複合施設
ひまわり

杉谷方英



監事
特別養護老人ホーム
有明ホーム

野尻裕史



相談委員会委員長
介護老人福祉施設
パウラスホーム

福原建三



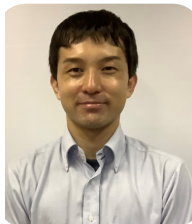
成年後見委員会委員長
チブサン荘
居宅介護支援事業所

中村洋行



地域包括委員会委員長
にしはら地域包括支援センター

白石雄貴



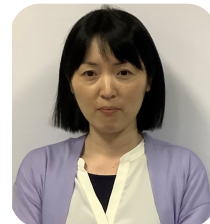
虐待対応委員会委員長
熊本市社会福祉協議会

綾香繁子



研修委員会委員長

横手由利



受験対策委員会委員長
熊本市社会福祉協議会

※今回は、皆様の要望等に応えるため、写真・イラストの柔軟な掲載にしております。

委員長・ブロック長紹介

安枝宏章



第三者評価委員会委員長
小規模多機能型居宅介護 笑和

田上緒



広報委員会委員長
熊本市社会福祉協議会

久保田亨治



会員サービス委員会委員長
障害者支援施設
くまむた荘

磯田千絵



災害時支援委員会委員長
鶴田病院

窪田寛史（兼任）



情報管理委員会委員長
熊本市西3
地域包括支援センター

山本千香子



熊本市中央ブロック長
スクールソーシャルワーカー

田中希



熊本市東ブロック長

佐藤英二



熊本市西ブロック長
藤崎台童園

中田慈子



熊本市南ブロック長
高齢者分野

鬼塚陽子



熊本市北ブロック長

永田恵里香



荒玉・山鹿ブロック長
公立玉名中央病院

※今回は、皆様の要望等に応えるため、写真・イラストの柔軟な掲載にしております。

ブロック長・事務局スタッフ紹介

小西豪志



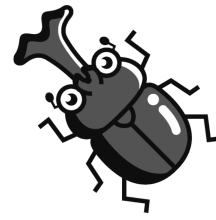
菊池・阿蘇ブロック長
特別養護老人ホーム
つつじ山荘

増田史弥



上益城ブロック長
医療法人松本会 プルメリア
(相談支援事業所)

松岡孝幸



宇城ブロック長
児童福祉関係施設

田尻龍一



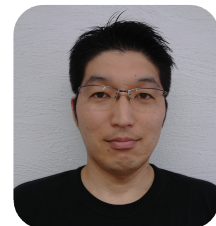
天草ブロック長
苓北町役場

垣原勝美



八代ブロック長
特別養護老人ホーム
すずらんの里

一川智礼



水俣・芦北ブロック長
石露の里

平山猛



人吉・球磨ブロック長
認定こども園
さざなみ保育園

事務局スタッフ

本多



本越



歌野



松本



ブロック名	対象区域
熊本市中央ブロック	熊本市中央区
熊本市東ブロック	熊本市東区
熊本市西ブロック	熊本市西区
熊本市南ブロック	熊本市南区
熊本市北ブロック	熊本市北区
荒玉・山鹿ブロック	荒尾市、玉名市、山鹿市、長洲町、玉東町、南関町、和水町
菊池・阿蘇ブロック	菊池市、合志市、阿蘇市、菊陽町、大津町、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村
上益城ブロック	益城町、嘉島町、御船町、甲佐町、山都町
宇城ブロック	宇土市、宇城市、美里町
天草ブロック	天草市、上天草市、苓北町
八代ブロック	八代市、氷川町
水俣・芦北ブロック	水俣市、芦北町、津奈木町
人吉・球磨ブロック	人吉市、あさぎり町、錦町、多良木町、湯前町、球磨村、山江村、五木村、相良村、水上村

新型コロナウイルス対策

～広報委員の所属する職場の3事例について～

【事例1 市町村社協】

合志市社会福祉協議会では、3月中旬から5月末までの間、新型コロナウイルス対策として、職場の“3密”状態を防ぐために、チームに分かれて時差出勤を行いました。また、空き部屋を事務所として利用し、職員同士が極力接触しないように注意しながら仕事を行いました。そして、全ての職員が一丸となって、業務開始時に、アルコールや次亜塩素酸を使った館内消毒を行いました。私の所属している総務施設班では、主に、知的障がいを持たれている方が館内清掃をしています。主な清掃場所のふれあい館が休館となり、部屋の清掃がなくなりました。

メンバーも最少人数でのシフトとなり、休みが増え、休業補償を受けた方もおられます。「仕事ができるありがたさ」を感じています。班での取り組みとして、普段よりもアルコール消毒に力を入れることやチーム同士のコミュニケーションの強化（午前の班と午後の班の引継ぎを文章で残すこと）を意識して仕事をしました。これからの目標として、メンバーそれぞれが、拭き残しを確認できるようになること、汚れが目立つ箇所を自分達で見つけて掃除ができるようになること（掃除のやり方がわからないところを私が教えることができる）を目標にし、班全体で頑張っていきたいです。

【事例2 地域包括支援センター】

熊本市中央3地域包括支援センター（ささえりあ浄行寺）では、職員自身が感染者や濃厚接触者となることでセンター業務が滞ることがないよう、4月中旬から5月下旬まで勤務体制を8人の職員を2チーム体制にし

て、オンラインのビデオ会議を中心にテレワークを実施しました。相談や各種対応についても電話やオンラインのビデオ会議での対応に切り替え、厚生労働省から託された600枚の布マスクを圏域内の高齢者にポスト投函でお届けし、新しい生活様式のことや、新型コロナに乗じた詐欺への注意喚起などについて、各種チラシを作成してお伝えしました。

現在、感染拡大のリスクから、地域の住民主体の介護予防の通いの場が活動を自粛傾向にあり、人と会う機会や体を動かす機会が減った高齢者も多く、筋力の低下や認知症の進行、連続的な飲酒等の相談も増えています。心配される県外のご家族からオンラインのビデオ面談による相談業務もあります。

今後は、住民主体の通いの場の活動再開の工夫や手法を提案しながら、地域のつながりや活動を喚起し、身近な住民同士の見守りや声かけにより、健康不安や困りごとを確認してもらい、地域の高齢者の生活実態を把握して、必要な支援策を検討しています。また、オンライン会議による地域ケア会議を定例で開催し、地域課題を把握し、具体的な支援策の立案などにつなげていく方針です。



オンライン会議の様子

【事例3 SSW】

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点より、熊本県・熊本市では3月2日から一斉臨時休校となりました。スクールソーシャルワーカーの動きも在宅ワークが中心となり、保護者・学校・その他との連絡・連携は電話やメールを活用。どうしても面接が必要な場合は家庭訪問を避け十分な空間保持と換気ができる学校で行いました。

県立学校SSWと私学SSWでは月1回定例会議を行っていますが、ZOOMの活用を試みました。事前準備は多少必要ですが、感染リスクはないためストレスなく普段と変わらない会議が行われました。

今後、情報管理に気をつけながら緊急な話し合いが必要な場合や遠方に住むSSWとの打ち合わせなどに活用していきたいと思います。

学校再開に関しては5月後半より短時間 分散登校が始まり、6月2週目からはほとんどの県立学校・私立学校は通常授業に戻っています。生徒・保護者との面談も再開していますが、ソーシャルディスタンスを図りながら開始しました。ある学校では面談室にアクリル板を準備され、少しでも依然と変わらない方法で面談できるようにして下さっているところもあります。休校中に生活リズムの変化、保護者の在宅勤務による家庭状況・経済状況の変化などがあり、上手に適応できずにいる生徒に対してはこれから学校や関係機関と連携しながら対応していきます。

Information

◆令和2年度模擬試験及び受験対策講座について

【社会福祉士全国統一模擬試験】

期日:10月4日(日) 会場:熊本学園大学

【介護支援専門員模擬試験】

期日:9月6日(日) 会場:熊本学園大学

●申込みの詳細はホームページをご覧ください。

なお、社会福祉士受験対策講座、並びに介護支援専門員受験対策講座は中止となりました。

◆事務局の移転についてのお知らせ

熊本県ハンセン病問題相談・支援センター「りんどう」開設に伴い、これまでの事務局の機能を2階に移転しております。ミーティングスペースも増えましたので、特に夜間に会議が重なっても対応が可能となりました。利用を希望される場合は、事務局にご連絡ください。

郵便物の宛先、電話・FAXは今までと同様です。

〒862-0910

熊本市東区健軍本町1-22 東部ハイツ105

電話(096)285-7761 FAX(096)285-7762

新しくなった事務局を皆さんも積極的にご活用ください。

※新型コロナウイルス感染防止のため令和2年度基礎研修開催中止となりました。

※詳細については随時HPに掲載いたします。

<http://kumacsw.com/>

熊本県社会福祉士会

検索

つ ぶ や き

新型コロナウイルス感染予防のために個人、企業、各種団体を様々な対応をせざるを得ない状況でした。ビジネス書には「生き残るためには変化に対応すること」というフレーズが頻繁に出てきます。

広報委員会では2月以降三密を避けるため、定例会や編集会議はZOOMでのオンライン会議に切り替え、前号、今号はオンライン会議のみで作成しております。

感染予防が当初の目的でしたが、いざやってみると、どこからでも参加可能なため、これまでの編集

会議より参加率はアップし、移動等の負担軽減に繋がり、また画面の共有が全員でできる為、編集画面を見ながら修正できたのは最大のメリットでした。

おかげで広報誌の質を落とすことなく、この数カ月を乗り切ることができ、「広報委員会は逆境に負けず変化に対応しているなあ」と自画自賛しておりましたが、ふと思えば私がZOOMの存在を知ったのは一年以上前のこと。何度も使用したことがあったにも関わらず、コロナがなければオンライン

会議で編集会議をするという発想には至らなかったわけで、ビジネス書の「変化に対応する」とはコロナがなくともオンライン会議を提案できる人のことではなかったのかと自分の勘違いを猛省しております。この春に委員長をバトンタッチしました。新委員長にはぜひ変化に対応できる広報委員会にしていきたいと思っております。

広報委員会 魚谷